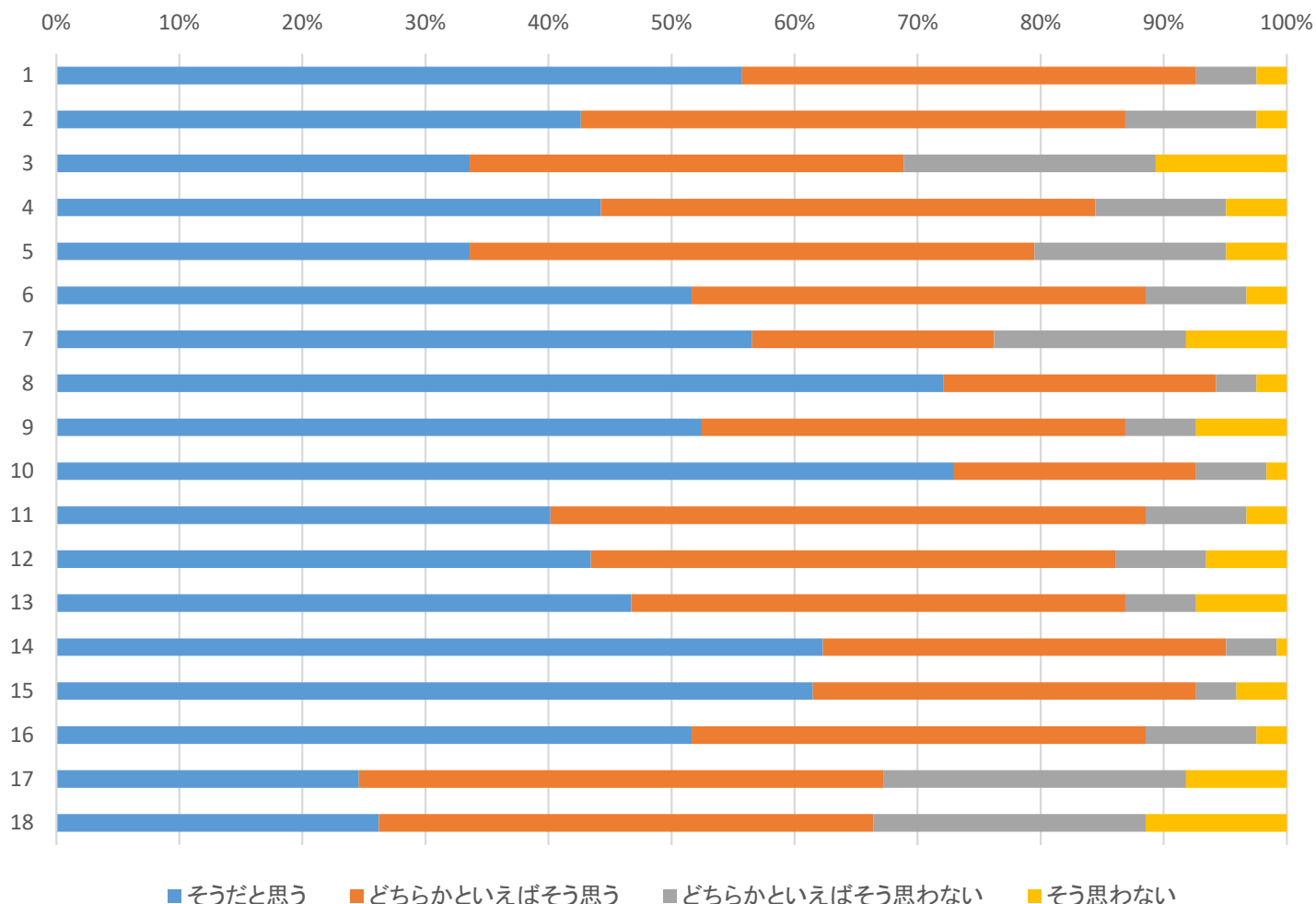
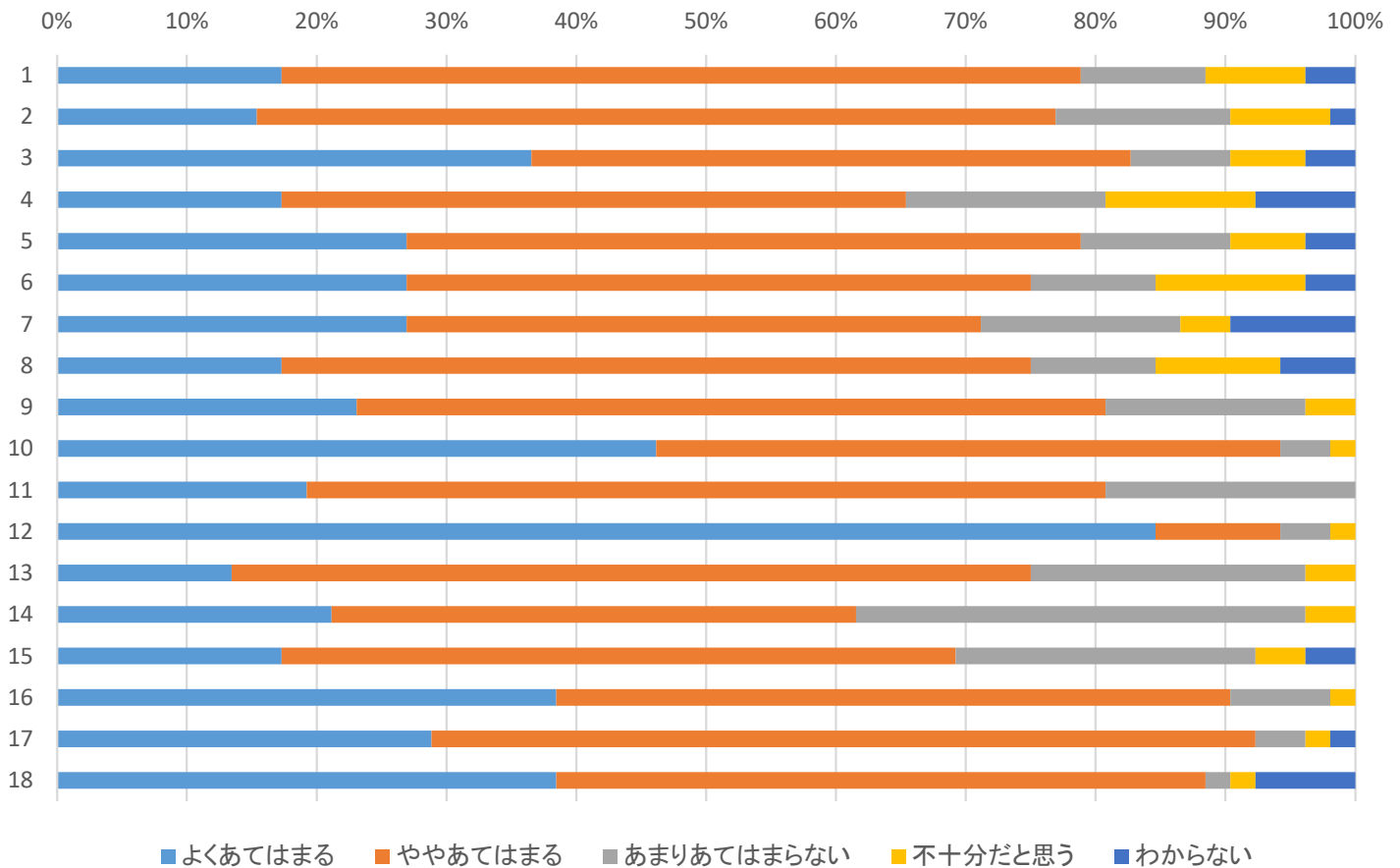


R7 久勝小学校をよりよくするためのアンケート集計（児童）



Item No.	Item Description	そうだと思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1	学校へ来るのが楽しい。	56%	37%	5%	2%
2	学習の課題に進んで取り組んでいる。	43%	44%	11%	2%
3	授業中、自分の考えを発表することができる。	34%	35%	20%	11%
4	難しいことでも、あきらめないで挑戦している。	44%	40%	11%	5%
5	話をしている人の方をきちんと向いたり、うなずいたりしながら、しっかりと話を聴いている。	34%	46%	16%	5%
6	授業中、ペアやグループで意見を言ったり、聴いたりすることができている。	52%	37%	8%	3%
7	休み時間は外へ出て遊んでいる。	57%	20%	16%	8%
8	先生は、困ったときに話を聞いてくれたり、まちがったことをしたらきちんと注意してくれたりする。	72%	22%	3%	2%
9	自分は、いじめや差別のない学校や学級にしようとしている。	52%	34%	6%	7%
10	地震や火事などの時に、どうやって逃たらいいかわっている。	73%	20%	6%	2%
11	きまりを守って生活できている。	40%	48%	8%	3%
12	目標をもって生活することができている。	43%	43%	7%	7%
13	自分にはよいところがある。	47%	40%	6%	7%
14	友だちを大切にすることができている。	62%	33%	4%	1%
15	困ったことがあったとき、相談できる人がいる。	61%	31%	3%	4%
16	先生や友だち、地域の方へのあいさつができている。	52%	37%	9%	2%
17	自分は、忘れものをせず、勉強の準備ができている。	25%	43%	25%	8%
18	むだな話をせず、そうじに集中して取り組んでいる。（無言清掃）	26%	40%	22%	11%

R7 久勝小学校をよりよくするためのアンケート集計（保護者）



1	学校は、学校教育目標に向かって努力している。	17%	62%	10%	8%	4%
2	学校は、地域や家庭と力を合わせて、子どもの教育を進めている。	15%	62%	13%	8%	2%
3	学校での様子や教育活動などを、懇談や学級だより、ホームページなどによって知ることができる。	37%	46%	8%	6%	4%
4	学校は、子どもの実態をふまえ、学力向上を目指して指導をしている。	17%	48%	15%	12%	8%
5	学校は、子どもたちに生命を大切にする心や人権を尊重する意識や態度を育てようとしている。	27%	52%	12%	6%	4%
6	学校は、道徳心や社会のきまりを守る意識を育てようとしている。	27%	48%	10%	12%	4%
7	教師は、子どもたちの悩みや相談に親身に対応しながら、指導している。	27%	44%	15%	4%	10%
8	学校は、子どもの実態をふまえ、体力向上を目指して指導をしている。	17%	58%	10%	10%	6%
9	学校は、交通安全や大災害から身を守る姿勢や知識など、安全教育に力を入れている。	23%	58%	15%	4%	0%
10	お子さんは、楽しく学校に登校している。	46%	48%	4%	2%	0%
11	お子さんは、家庭でルールやマナーを守り、規則正しい生活を送っている。	19%	62%	19%	0%	0%
12	お子さんは、朝ご飯を毎日食べて登校している。	85%	10%	4%	2%	0%
13	お子さんは、場に応じた言葉遣いをし、気持ちのよいあいさつをしている。	13%	62%	21%	4%	0%
14	お子さんは、進んで家の手伝いや自分でできる役割をしている。	21%	40%	35%	4%	0%
15	お子さんに学習する習慣が身につくような働きかけをしている。	17%	52%	23%	4%	4%
16	学校でのことや毎日の出来事などの話が聞けている。	38%	52%	8%	2%	0%
17	学校行事に参加したり、担任の先生と連携がとれたりしている。	29%	63%	4%	2%	2%
18	学校が「働き方改革」を推進する必要性を理解している。	38%	50%	2%	2%	8%

令和7年度 学校評価総括表

阿波市立久勝小学校

学校教育目標 一人ひとりを大切にし 知・徳・体の調和のとれた たくましく人間性豊かな児童の育成
めざす子ども像 進んで学び 仲間と深め 自信をもって行動する児童の育成

総括表

A・・・十分 B・・・おおむね十分 C・・・やや不十分 D・・・不十分

評価項目	考察(成果と課題)	次年度への改善点等	関係者評価
学校教育	<p>児童・保護者・教職員の三者から、学校教育目標の理解や実現に向けた取組が概ね高く評価されていることが分かる。特に、安全教育、道徳・規範意識の育成、学力向上に向けた指導、児童理解、相談対応などは肯定的な回答が多く、学校全体の教育活動が安定して機能している。</p> <p>一方で、子どもの実態把握に基づく指導の深まりや、学力・体力向上の成果実感、家庭との連携強化、働き方改革に対する理解の差など、改善に向けた余地も見られた。教育の質向上には、継続的な共有と実践の精度向上が求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none">・学力向上策の成果可視化・家庭との連携方法の充実	B
学級経営	<p>児童アンケートでは、友だちを大切にする・相談できる人がいる・話を聞く態度など、学級内の人間関係づくりが安定し、安心して過ごせる環境が整っていることがうかがえる。</p> <p>一方で、発表のしやすさや聞く姿勢の徹底、無言清掃や忘れ物などの基本的な生活習慣には一定の課題が見られる。</p> <p>教員側では児童理解を大切にした対応が高く評価されており、温かい学級経営が根付いているが、個別最適な支援や生活習慣の定着に向けた一貫した指導の強化が次の焦点となる。</p>	<ul style="list-style-type: none">・発表しやすい授業構成の工夫・生活習慣定着の系統的指導	A
地域・家庭との連携	<p>保護者アンケートでは、学校の教育活動や子どもの様子が懇談・学級だより・ホームページ等で伝わっているとの肯定が高く、家庭との情報共有は概ね良好である。また、学校行事への参加や担任との連携についても高い評価が得られ、協働体制が一定程度築けていることが分かる。</p> <p>一方で、地域と連携した取組の成果実感や、子どもの実態に応じた学校・家庭・地域の三者協働の深まりには課題が残る。</p> <p>教員側でも地域・家庭との連携は肯定的だが、より双方向の関係づくりや情報伝達の質向上が次年度に向けて求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none">・地域参画行事の充実促進・家庭と共有する情報の精選	B
体力向上	<p>児童アンケートでは、外遊びをしている児童が一定数いる一方で、肯定は約7割にとどまり、学年差や友人関係、遊具環境などによるばらつきが示唆される。</p> <p>また、教員アンケートでは「体力向上への取組ができている」との肯定が8割以上と高く、学校としての指導姿勢は概ね確立しているといえる。</p> <p>しかし、児童側の行動変容に十分結びついていない面も見られ、日常的な運動習慣づくりや、意欲を喚起する活動の工夫が課題となる。家庭・地域と連携した運動機会の拡大も今後の焦点である。</p>	<ul style="list-style-type: none">・毎日運動習慣化への支援強化・遊び場と運動機会の拡充	A

評価項目	考察(成果と課題)	次年度への改善点等	関係者評価
学力向上	<p>児童アンケートでは、学習課題に進んで取り組む姿勢や、難しいことへの挑戦意欲が高く、主体的な学びが育っていることがうかがえる。</p> <p>一方で、自分の考えを発表することへの不安や、準備・忘れ物といった学習の基盤となる生活習慣に課題が残り、学力向上の成果をさらに高めるには学びの「質」と「準備」の両面からの支援が必要である。</p> <p>教員アンケートでは、学力向上実行プランに沿った取組は概ね進んでいるものの、児童の実態に応じた指導改善の余地が示されている。学級・家庭・学校が連携し、学習習慣と表現力を高める取組が求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表技能向上の体系的指導 ・学習習慣を支える家庭連携強化 	B
生徒指導	<p>児童アンケートでは、友だちを大切にしようとする意識や、困ったときに相談できる相手の存在が高く肯定されており、日常の人間関係づくりや安心して過ごせる環境が整っていることが分かる。また、いじめや差別のない学校づくりに向けた意識も概ね高い。</p> <p>教員アンケートでも、児童理解やいじめの早期発見・対応への取組が十分になされており、生徒指導の基盤は安定している。</p> <p>一方で、話の聞き方や生活習慣の定着、場面に応じた言動など、日常の規範意識に課題が残る。学級・家庭との連携を深め、継続的な指導の積み上げが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識育成の体系化 ・相談活動の可視化と活性化 	B
安全教育	<p>児童アンケートでは、「地震や火事の際の避難方法が分かる」が9割以上の肯定となり、安全教育の基本的理解が十分に浸透していることが分かる。また、先生に相談しやすい環境づくりや、誤った行動への適切な指導が高く評価されており、日常の安心感につながっている。</p> <p>教員アンケートでも、緊急時に備えた組織づくり・計画・訓練が概ね整っているとの回答が多く、学校体制としての安全管理は機能している。</p> <p>一方で、児童の生活場面全体での危険予測力や、地域・家庭と連携した安全意識の共有には課題が残り、より実践的な指導の充実が求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危険予測学習の体系的強化 ・地域連携の安全指導充実 	A

学校運営協議会委員からのご意見

- ・(安全教育について) 地区の防災訓練で地道に伝えて行くことが大切。
- ・自尊心の低い子供が多いのか？もっとほめて ほめて ほめて あげてほしい。家庭でも同じ。先生の間でもほめ合う雰囲気できてほしい。
- ・子供たちから先生への信頼はあついと感じる。相談しやすい空気があってよい。保健室利用もよい。
- ・学校規定を変える際には、PTAを通すなど猶予があっても良いのでは？
- ・まなびポケットは有効。使いやすい
- ・学校と保護者との情報共有が大切だと思う。
- ・誤解が生じない方法が実現できる手段を考えてほしいと思う。
- ・子供たちが落ち着いた学校生活を送っているのは学校・学級運営や生活指導・生徒指導のたまものだと思う。
- ・学校行事などにたくさんの保護者の方々が来られており協力的な家庭の様子が分かる。
- ・子供を良くするには家庭の協力なしでは、なし得ません。これからも継続を。
- ・クラスの授業に入っているとお困り感のある子供への対応が人手不足もあり足りていないような気がする。
- ・先生方それぞれが、すごくいいご指導をしている。
- ・素晴らしい指導法などを他の先生にも広める方法は？
- ・学習発表会、どの学年もすばらしかった。ご苦労様でした。